

別記様式

会 議 録

会議の名称	第3回 鴻巣市立小・中学校適正配置等審議会
開催日	令和4年3月9日(水)
開催時間	開会 18時30分 閉会 19時50分
開催場所	鴻巣市役所 本庁舎 3階 303会議室
議長(会長) 氏 名	会 長 石 崎 一 記
出席者(委員) 氏 名 (出席者数)	石崎一記(会長) 佐藤芳隆(副会長) 吉田全利、関根茂夫、奥山龍一、奥木美恵子 関根 勇、宮田忠夫、陸田典志、酒巻喜久子、眞鍋 透 (11名)
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)	藤原将人、土橋 純、代みさき (3名)
事務局職員 職 氏 名	教育長 望 月 栄 教育部長 齊 藤 隆 志 教育部参与 大 島 進 教育部副部長兼学務課長 宮 野 和 幸 教育部参事兼教育総務課長 鳥 沢 保 行 教育総務課副主査 新 井 洋 平 教育総務課主任 堀 智 紀 学務課主事 石 井 亜 季
傍聴の可否 (傍聴者数)	可(傍聴者5名)

<p style="text-align: center;">会 議 次 第</p>	<p>1 開会のことば</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 諮問</p> <p>4 議題 諮問事項についての補足説明及び質疑</p> <p>5 閉会のことば</p>
<p style="text-align: center;">配 布 資 料</p>	<p>資料1 諮問（写）・諮問別紙</p> <p>資料2 鴻巣市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する基本的な考え方</p> <p>資料3 H27.8.8 付鴻巣市立小・中学校の適正規模及び適正配置について（諮問）</p> <p>資料4 H29.8.6 付鴻巣市立小・中学校の適正規模及び適正配置について（答申）</p> <p>資料5 鴻巣市立小・中学校児童生徒数及び学級数の推移（見込）</p> <p>資料6 通学区域図（2 k m）</p> <p>資料7 適正配置等審議会スケジュール（案）</p>

(主な意見と見解)

- ・統合後の跡地活用について、統合後ではなく、地域の声を聞きながら並行して審議するべきではないか。
- ・坂戸市の城山学園における小中一貫校の研究結果についての報告を聞きたい。
- ・平成29年の答申から時間もたっているため、今の現場の声等を情報収集してほしい。
- ・義務教育学校の検討とあるが、検討だけで終わってしまうのではないか。
⇒義務教育学校も様々な形がある。導入するというだけでなく、どのような形にするかも検討していきたい。
- ・意見交換会で反対の声が上がったら、実施しないことも考えられるのか。
⇒全員が賛成という事はない。課題等を一つずつクリアしながら取り組んでいく。
- ・常光小学校に孫が通っている。子ども夫婦に意見を聞くと、「統合に賛成」ということである。主な理由として、人間関係の固定化、遠距離通学により帰宅が心配、ある程度人数がいる中で学校生活を送ってほしい、少人数から大きな中学校に進学する際の人間関係が不安ということを話していた。
- ・常光小学校を卒業した身としては、母校が無くなるのは寂しいという気持ちはある。
- ・笠原地区から鴻巣中央小学校に通学している児童の保護者から、当初は不安を感じていたが、現在では子どもたちが楽しそうに学校生活を送っている。統合後はアンケート等を実施していく。
- ・共和小学校では、小規模校にはメリットもあるが、それ以上にデメリットを感じる人が多い。
- ・通学区域審議会を通じて、保護者への心情的な配慮が必要と感じた。計画全体の青写真と保護者をはじめとした地域の意見のバランスを取っていく必要がある。あまりにも計画に特化してしまうと、思う様に進まなくなってしまうように感じる。
- ・学校を商品のように考え、消費者意識になっている保護者は多い。課題の本質からずれてしまっており、審議が進まなくなってしまう。しかし、心情的な部分も議論から外すわけにはいかず、納得してもらえるような根拠を示していく必要がある。

会議の内容

- ・川里地域の対象校における保護者等を集めて、意見を聞いてきた。反対という声より、地元の意見を反映させて、通いたくなるような学校にしたいという声が大きかった。また、経費の削減を掲げると保護者達は不安になってしまうため、子どもたちの将来を第一に考えてもらうことでうまくいくと思う。
- ・川里3小学校の現実問題として、教室数の不足が挙げられる。35人学級が導入され、この先も必要教室数が増えることが予想される。校庭にプレハブを建てればよいかというと、お金の面だけでなく、校庭が狭くなることで、子どもたちにとって不利益になる。校舎の老朽化や教室数の不足、義務教育学校のメリット等を総合的に考えると3校の統合が最善の策と考える。
- ・令和10年度に新しい学校の設立を目指すとの計画だが、現時点で校舎の老朽化が目立つ。統合までの6年間、現状のまま修繕・改修等を行わないということは避けてほしい。
- ・地域で情報収集する時間もあるので、7月頃に答申というのはスケジュール的に厳しいと感じる。
- ・予算面から、児童のために予算を効率的に分配できるようになるということに対しては肯定的な意見もあると思うが、学校が減ることで縮小できるということに対しては否定的な意見は多くある。
- ・各学校で独自の催しが行われている。そのような取組に対して、PTA役員や地域の協力者と話し合いの場を設けてほしい。
- ・保護者等からは賛成、反対ということではなく、再編計画を実行することに関する課題をあげてほしい。それらの課題を解決するための方法について審議会において審議していきたい。
- ・適正配置等の取組はとても誤解されやすい。正確な情報を発信しないと保護者や地域の方々に、すでに決定してしまったかのような伝わり方、誤った伝わり方をしてしまうことが多々ある。情報の取扱いに気をつけなければ、保護者や地域の不安をあおるだけになってしまう。正確な情報発信を心がけてもらいたい。